



鳴立庵は日本三大俳諧道場の一つ。西行も芭蕉も訪れていて句碑が立つ。  
いまでも句会などが開かれている。

鳴立庵入口

ひまわりと寄る道に  
延台寺  
日本三大仇討の一つと言われる曾我兄弟の仇討伝説。大磯はその兄である曾我十郎祐成と遊女虎御前の悲恋にまつわる伝説の地である。

海水浴場と別荘地で知られる大磯の海は、歌枕の地、小堀殺の決である。曾我十郎と虎御前の悲恋の地でもあり、西行が「鳴立沢の秋の夕暮」の歌を吟遊した地でもあり、どこかしっとりとした風情がたぎらう。

# 東海道五十三次 大磯

江戸より八番目の宿



明治の財界人文士の別荘で、名高い大磯。大磯には平安時代末期から相模国の国府が置かれていた。現在の「大磯町」国府本郷のあたり、またこの地が「湘南発祥」の地と言われていることはあまり知られていないが、海水浴場の草分け的存在でもあった。

